



加古川市立神吉中学校 学校だより 校長室より 第21号

「租税教室」を実施しました！

6月18日（木）6校時、3年生を対象に「租税教室」を実施し、加古川納税協会税理士の大森さんにご講演いただきました。

受講前に「もしも自分が町長さんだったらどのような町にするか」を考え、「自分の町をつくろうシート」に、欲しいもの・あったらうれしいもの、必要なもの・なかったら困るものを考えてシールを貼りました。生徒たちは、病院や警察署、学校、消防署、ごみ処理施設、コンビニ、レストランなど、様々な施設のシールを貼り、自分が理想とする町づくりをしました。



「租税教室」では、幅広く立場が違う人たちから負担に不公平感を感じさせないように納税してもらうためのしくみや、子育て支援、医療・介護、教育など、限られた予算の中での配分のバランスの取り方など、私たちの暮らしと税金について、様々な視点からの話をしていただき、「税」について深く学びました。

今後、少子高齢化による働く世代の人口減少により、税金がますます集まりにくくなることが懸念されています。また、高齢者の増加による社会保障費の増加により、税金が現在よりも多く必要になる状況にあります。さらに、地震や台風などの自然災害により大きな被害を受けた場合、復旧のためにも税金が必要になります。

国会でも解決策についてたくさんの議論がなされています。数年後には選挙権を持つこととなります。生徒のみなさんは、自分たちが社会の一員であるという自覚を持ち、この「租税教室」をきっかけに、税について関心を持ってほしいと思います。

